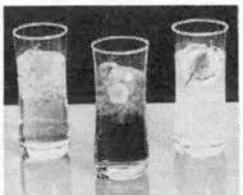


ふあつしょんざけ

# 発信酒

灘五郷の  
SAKE力クテル



KTFF では最優秀賞受賞(右) SAKEカクテルを大いにアピールする辰馬寛男理事長(左上) マイルドな口あたりが若い人に人気のSAKEカクテル(同下)



昨年11月の神戸トータルファッショングエアの閉会式でアツといわせたのが灘五郷酒組合。出展社の表彰式で最優秀賞を受賞したのが同組合である。「その色と伝統を今日性まで高めた」がその評価。従来の麹色の強い清酒が爽やかに、またフルーティなカクテルとして登場したからだ。名付けて「SAKEカクテル」。

灘五郷お薦めブランドは「サムライロック」と「ピンクロック」。「サムライロック」は、日本酒にライムジュースを加えオンザロックで。「ピンクロック」は同じくクランベリー・ジユースで割る。麹の臭いがフルーティな香りで包まれる。

この仕掛けの向こうには酎ハイブームが見えてくる。日本全国に野火のように広がった酎ハイブームは軽薄短小時代の申し子。カフェバー、フットワークの軽い会話、嫌われるのはチビチビ飲る長つ尻。そんな時代に腰が重いと思われた清酒が巻き返しを図るのだ。

その周辺を灘五郷酒造組合(東灘区御影本町六一十九)の辰馬寛男理事長は「本来の清酒は幹。枝葉の部分をビギナー酒としての切り口にしたい」と意気込みを一気に語る。

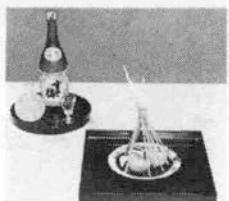
「レギュラーのアルコール度数は現在一級酒で15度。しかしソフト化志向に対応した8度の酒も出回りだしている。またSAKEカクテルのボトルも来春には許可がおりると思う。灘も各メーカーが同一歩調で頑張れば巻き返しも可能だ。今や国籍不明のアルコール飲料の時代ですな」と。混沌の時代だからカクテルがはやるのかもしれない。

「アナタア、今夜は冷やします?熱燗にします?それともSAKEカクテル?」。

# 薬燶酒

うん ちく ざけ

## 「馳走」さんは 料理がひきたつ酒



幻の酒を前にご主人の半田博一さん。「灘のお酒も愛飲してますよ」料理に極めつけの酒を選ぶ

山本通り四丁目の懷石料理店“馳走”的店主、半田さんは「魚も野菜も季節の本物を吟味して料理する以上、醤油、米、塩等の調味料も本物を求めますし、その料理を盛る器も折角だから一般家庭には手に入りにくい、幻の酒といわれているような本物の美味しいお酒をお出ししているのです」と語る。

は造り酒屋のご主人が丹精込めたお酒で、娘を嫁にやるときに出さない涙も、酒の出荷時には思わず涙ぐむという逸品。返盃飲みや一気飲みではバチがあたるというもの。

馳走では食前には酸度が低く、さらっととした立山、食間には腰があり、切れ味の良い菊姫、白龍、梅錦等、料理の仕上げにはまつたりした味わいの日本酒のロマネコンティと言われている雪中梅や浦霞、という具合に出される。どれもご主人が雑誌で研究し、お客様からの情報や自分の舌で確認した銘柄だ。

半田さんの言葉は続く、

「今後、酒倉にぜひお願いしたいことは、ラベルに米の産地、発酵日数、酸度表示等の明記ですね。それと、料理人と酒倉が協力し合って美味しいお酒をつくっていけばいいですね。外国にはホール・ボキューズのワインとかレストランオリジナルのワインがあります。私は“馳走”独自の酒を今年中につくりたいと思っています」

料理屋で一番大切なのは材料の吟味、そして創意工夫、そして良いお客さまです、と店主は言葉を結んだ。

かる  
ちやー  
ざけ

# 軽爽酒

ワインは人を  
自由にする



コウペ・ワイン・セラー今井商店の地下ワイン倉庫には約1,300種類のワインが収蔵されている。

ワインは、自由人に愛される。

今井拓雄さん（株今井商店代表）は、ワイン通として知られている。酒類販売を営む一方、六年前から神戸ワインサロンを主宰、ワインを、というより「ワイン文化」を神戸に根づかせた仕掛け人その人。なのに、自身は酒を飲まない。だからこそ、仕掛けられた、ともいえる。その今井さんの弁。

「ワインの飲み方に『型』はありません。それぞれの楽しみ方でいいと思います。ワインに凝り固まって深く奥義を極めるのも一つ、ワインにまつわる歴史・社会・風土などに興味をもち、ワインを媒介として知的好奇心を満足させるのも一つ」。神戸ワインクラブは後者に属する。会員は約四十名。月一回の例会では、毎回、「珍品」が紹介され、幅広く話の輪が広がる。つまり、ワイン+会話+サムシングの、サムシングに本領がある。これまでに紹介されたワインの種類は五百以上。「ワインの飲み方に講釈は不要ですよ。最近は日本でも、ビールで咽喉の渴きをいやすよう、ワインを飲む人も出て来ています。むしろ、こういう飲み方が本流かも分りませんね、ヨーロッパでは、ワインを日常の飲み物と考える下地が出来ていますからね。日本の場合は、まるで『ワイン道』というか、まさに『入門』するみたいなところがありますね。入り方はどうでも、日常的に気楽に飲みながら、その中で自分なりの楽しみ方を身につけるのが一番いいんですよ」。

水がわりに飲むのもいい、一杯のワインを味わい尽すのもいい。T.P.O.に合わせて両方が出来てこそ真のワイン通といえる。ワインは、自由に飲むことだ。

# 我意我意酒

垣谷邸の

## 重宝なワインセラー



傾斜を利用したワインセラーは将来拡張の予定。神戸の街が一望できるリビングルームでワインを楽しむ垣谷夫妻。

垣谷家は、いつも賑やかだ。二、三十名が集まり、板前さんを出張させての天ぶらパーティ、ふぐパーティ、夏はもちろんバーベキュー、パーティーといろんな趣向のホームパーティが年中開かれる。その都度、ワインも二十本近く抜かれるという豪快さ。

市内で石油会社他の自営業を営む垣谷道彦さんが、ここ住吉台に家を建てたのは約五年前。一六〇坪の敷地は二〇〇m余りの標高があり、全面窓ガラスの応接間に通されるとその素晴らしい眺望にまず息を呑む。眼下に神戸の街並みやポートアイランド、見渡せば六甲山頂も……。視界全てがご馳走なのに、斜面を利用して地下に作られたワインセラーには五百本余りのワインが眠っているとは。

「上等のワインはないんですよ。私はたくさん飲めないし、きつい酒もダメですね。安いワインでも料理と一緒に皆でワイワイやりながら楽しむとおいしいんですよね」

パーティを開くとなると手先が器用な垣谷さん自ら甲斐甲斐しく準備にとりかかる。テレビルセットや食器類も多人数分揃えられ、カラオケセットも準備OK。垣谷さん自身が五年がかりで設計したというだけあって、家の内はいたつて使い勝手が良さそうだ。ワインセラーは当初の計画に無かつたが、階段下の空間をうまく利用して、温度調整付のワインセラーができあがった。

「一昨年、初孫が誕生しましてね、その年のワインが今年あたりできると思うので、残しておこうと思います。何か記念の年のものを残していく楽しみもワインならでは、でしょう」垣谷家では楽しんで飲んでこそお酒の効用があるというものだ。

# 夢憧憬酒

む 1 ど  
さ け

だから。立川クンチのパーティはおもしろいのだ



「コーヒー代を払うより、ビールの小瓶を飲んだ方が美味しい」とのたまう立川赫造さん（竹馬産業KKユニホーム部企画課主任部員）の結婚する時の夢は、コタツの中で女房と差しつさされ……と思ついたら、何と一滴も飲めないお嫁さんと職場結婚してしまった。

今もごひいきの三宮の「若竹」と、「猩々」に通つては、6月・12月のボーナスの殆どはつぎ込んでいたという豪傑。お嫁さんを「猩々」へ2カ月間開店前の準備タイムに通わせて、口に合うヌタとか小芋の煮つころがしなんぞを稽古させて、料理修業をさせた。そんな次なる夢は、我が家を建てる時にリビングルームを必ずやデラックスなホームバーにしようと念じたのが、やつと3年前に完成したまず広さは12畳。「トム・キャンティ」の榎マスターに相談して案を練り、設計は親友のデザイナー宮下さん。

スペンドール2基、プレヤー・テクニクス・アンプ・チューナー・ラックス、カセットデッキ・ソニー。そして100エンを入れんでも歌えるカラオケ400曲、二重防音だから精一杯大声で歌える。バーのお酒は100本。だからこのリッチで気楽な立川クンチのパーティには底抜けに楽しいメンバーが多士彩々で集まつくるのだ。彼はまた神戸ローンテニスクラブのメンバーだから毎日、テニスの素振りのあと風呂へ入り、夏ならビールの中瓶2本、水割ロックハイWで2杯が日課である。

「酒が美味しいのはわが家。好きなときに、好きな体位で、好きな酒が飲めるでしょう。それに仕事の利害関係はないし、妻や三人の子供たちはみんなぼくを愛してくれているんだものネ（笑）」



立川さんのチのパーティに集った人々。中央立川夫妻を囲んで。午後4時～深夜迄パーティは続いた。

えんかざけ

# 富歐酒

“はじめに  
酒ありき”



トア・ロードのファーストバブでカモカのおっちゃんとお聖さんを囲んだ仲間たち。おしどりコンビで“瀬戸の花嫁”

竹中はいま、（極楽の暮しちやうか）と思う。何より、酒を飲むときに誰にも何も、いわれないのがいい。

竹中の好きな飲みかたは、安もんのウイスキーを、生のまま小さいグラスに入れ、べつにタンブラーに氷水を入れておいて、かわりばんこに舌を濡らすというやりかたである。

ウイスキーは、上等を飲むと、やっぱりうまいと思うが、ふだん無造作に飲むときは（安もんでええ）と竹中は思っている。

「そんな濃いのん飲んでいたら、胃イ悪うするやないの」

とたまみが来て見咎めていたが、

「別条あらへん、胃イへはいつたら薄うなつてる」と竹中はいう。

× × × × ×

田辺聖子さんの新刊“はじめに慈悲ありき”（文芸春秋社刊950円）の文章である。何という中年の男らしい辛口の飲み方であろうか。まことに関西の男ほんらしい。

神戸の酒徒番附の西の横綱に今年も推されたお聖さんは、昨年暮れの12月25日、吉田日出子の“上海バンスキング”を、神戸文化中ホールへ、ご主人のカモカのおっちゃん（川野純夫氏）と共に観覧し、お二人の招待者と共にトア・ロードの“ファースト・バブ”のクリスマスパーティーに現われた。お聖さんは「私のうちは、大家族でね、父親が酒呑みでおじいちゃんも大酒呑み。母かたのおじいちゃんも酒呑みで、何かというと皆集まつて飲んだり、食べたりが大好きなんよ。だから今も皆で一緒にワイワイ酒やね」。酒飲み男たちと共に育くまれたお聖さん。

“はじめに酒呑みありき”である。



杜氏とは、酒を造る職人の頭ですが、酒造りの職人を総称して杜氏と呼ぶこともあります。杜氏の出身地、兵庫県丹波地方は、日本最大の杜氏出身地で、江戸時代宝暦年間における記録が残されているほど。その丹波出身の杜氏の手によって銘酒・小倅は醸造されています。

兵庫県氷上郡市島町中竹田 倉名金社 西山酒造場 07958(6)0331



但馬は、兵庫県北部地方に位置し、冬季は山里で2メートルの積雪をみることもまれではありません。現在約2000人の季節酒造工が全国の酒造場で日本酒の生産に励んでいます。香住鶴の石津六郎翁は但馬杜氏の優秀な技術と伝統を受け継ぎ、労働大臣賞を受賞した名杜氏です。

兵庫県城崎郡香住町森 香住酒造有限会社 ☎07963(6)0029



# 神戸酒徒番附



■酒特集

## '85神戸酒徒番附選考座談会

# 若手の台頭めざましい十両勢

審査員

・東/経済人

健  
三富商店社長  
木  
大工建設社長  
下  
月岡  
泰  
清市  
珠  
月岡倉庫社長

- 恒例の神戸酒徒番附選考。まず、東/経済人/からお願ひします。業績面はむろんのこと、酒品そして酒量、この三点を加味し選考していただきたいと思います。
- ★安泰の上位三役
- C 横綱候補は昨年同様、田崎真珠の田崎俊作。本社の文化イベントも立派だし動かずだネ。
- A 昨年は藍綾褒章を受賞しているね。
- C ワールドの畠崎廣敏だが、ワールド記念ホールが昨年完成し、文化面に大きな功績を残した。柿落としの「コスモボリス」で注目を集めたのも記憶に新しいし、張出横綱の座は動かない。
- B 上島珈琲の上島達司だが、ユーパーシアードオフィシャルスピーカーになつたり、今年開催の筑波に出展したりと意欲的な活動を続けている。張出横綱だ。
- C 神戸ポートピアホテルの中内力は新館建設を予定し、意気盛んだ。
- A 樽本産業の樽本久は堅実な業績なので張出大関だよ。
- B 凤月堂の下村光治もファッショントウンへ進出。六月竣工だ。
- A ジヤヴァの細川数夫は業績が急上昇している。
- C 森本倉庫の森本頼二は現状維持というところだね。
- 島文工業の島田文六は東京で
- ★前頭は白熱した議論を展開
- A 昨年張出小結のキムラタケル木村豊は現在体調を崩して土俵にあがれない。
- B 彼は休場ということにしようでも早く体を治して復帰してもらいたい。
- B そうだね。昨年も業績の良かった伊藤ハムの伊藤研一を彼の後任に。
- A 淡路屋の寺本滉は、ワイン弁当を新発売したり、相変わらずの活躍。昨年同様、張出小結だ。
- B カワノの河野忠博は、昨秋、北野に小売店「アルカンシエル」をオープン。小結で安泰。
- A ところで前頭はかなり動きそうだ。
- C シャルレの林雅晴は無店舗販売で売り上げが急上昇しているから川西倉庫の川西章二の次に。
- A 沢の鶴酒造新社長に就任した西村隆治が林に続く。
- B 番付の中にも医者が不在なんだけど、このあたりで一人ぐらいでもいい。
- B 今、最も深刻な問題として取り上げられている高齢者問題と熱心に取り組んでいる海岸病院の医



月岡 清市 さん



西宮 寧泰 さん



木下 健 さん

ところだろう。

A 真珠業界は昨年も好況だった木下真珠の木下章夫、森真珠の森隆も地場産業として頑張った。

B 製菓ではゴンチャロフ製菓の光葉貞男、ベルの東中弘吉が安泰だね。

C あと弁護士の阿部清治も前頭中ほどで頑張つてもらおうか。

★ 若手が台頭した十両勢

B 十両筆頭は白鶴酒造新社長に就任した嘉納秀郎だ。

C 六甲バターの塚本哲夫も新社長に就任したね。

B これを機にもっと積極的に社交の世界に入つてくれば、もっと上位進出も期待できる。

A 今年の活躍に注目すべきだね

それから新社長といえば神栄石野證券の石野喜一も忘れてならない。

C 本年度神戸JCI理事長の中尾裏は、今年の活躍を期待して一つ前進。

B ファッションタウンで頑張つているコスモボリタンのV・モロゾフも番附に新たに加えたい。

A 角田内外国特許事務所の角田嘉宏もよく飲んでるね。弁理士という仕事にも注目したい。

C 若手でアクティビズムなのがタカハシ・パールの高橋洋三だ。「真珠議」のリーダーであり、神戸ヒゲクラブの主宰者でもある。

**B** サン・コトブキ新社長の細谷俊雄も将来が楽しみなので、北野商業連合会長の三浦明定の次に、  
**A** ワイン文化の火付け役となつたのが今井酒店の今井拓雄だ。

**B** 北野町で最近ユニークな活動で注目を集めているのがバビロンの打間奈津子だ。

**C** 高嶋鴨類食品の高嶋良平新社長は、若いのにしっかりと成長している。

**A** その次には神戸J.C専務理事の役職にあった金榮俊成がいいね

**B** 忘れていいのは、取組場所としてのふらんの浦野久子、トムキヤンティの榎晴夫。

**C** そして最後はM.A.Cの植村孝一だ。新アーケードが完成したセンター街の若手として頑張っているし、例のケーブルカーのときにはその直接の担当になつていた。

——では、次に三賞の選考に移りたいと思います。

**A** 殊勲賞はパールシティコウベの高橋洋三だね。

**C** 彼は一昨年度“真珠の街神戸を考えるプロジェクトチーム”でブルーメール賞を受けている。

**B** 業績急上昇とファッショントアロードにケーブルカーを走らせる運動で市民文化に大きな成果を残した尤昭福だね。△敬称略△



酒特集

# ’85神戸酒徒番附選考座談会

# 拡がりつつある仕事、酒のエリア

### 〈審查員〉

• 西 / 文化人

有草武 井野田 基郎明 拓則 《建築家》  
《神戸新聞社編集委員》  
《神戸新聞社学芸部》

——それでは次に、大いに酒を飲み、かついい仕事をされた方、と  
いうことで文化人（西）の神戸酒  
徒番附の選考をお願いします。

**A** 還暦を迎えた「チュー太郎の  
会」のパーティでは、中西勝、陳  
舜臣とか、まだまだ酒徒番附定年  
の人が神戸では頑張っている。若  
い人達が、もつともっと伸びてき  
て層が厚くなると、楽しみだね。

**C** 飲む場所も六甲、岡本と、広  
がっていますけど、「しゃねる」の  
パーティみたいに、神戸の文化人  
がワードと集まって、大いに飲み  
語り、さらにいい仕事へのエネルギー  
を貯めて欲しい。

**B** 上から見いくと、田辺聖子  
の横綱は動かすですね。

**A** 男性ファンも多い。自分なり  
の仕上げの時期にきていているよう  
で、筆が慎重になつていて。地方  
の部分がジワッと底上げしてきた  
感じ。

**C** 鴨居玲は、金沢で姉弟展をや  
つて、向こうですごい人気。四回  
入院しながら毎月描いています  
し、飲む方でも鳴らしている。

**B** 美術家野球の運営委員長で、  
行動力もある。横綱鳴居健在。

**A** 三枝和子は、去年ほど傑出し  
たものはないですが、安定してい  
るし、楽しみがある。

**A** 望月美佐は、アメリカに行く。 ようで、今年度の方が期待できる。  
**B** 環境造形Qは、神戸市の文化賞を受賞したけれども、個々のいい仕事が昨年は多かったですね。  
**C** 小林陸一郎が、今回、西宮のアート美術展を中心にやっていたし増田正和も大阪で出品していた。  
**A** 造形部門の充実はなかなかのものだね。齊藤智もこれから。新谷秀紀、英子の彫刻もいい景観になっている。傑出した働きをしたということで、山口牧生を張出横綱に挙げたいね。

**C** 去年は審査員ということで、はずれていたんですが、嶋田勝次は、飲む方も含めて、今年はよく頑張っていましたね。嶋田が設計した建物が建築文化賞に選ばれました。

**A** 谷川造司は、名人位の防衛もしたことだし、アップだね。  
**C** 内藤国雄とか、将棋で良い人が多い。森安秀光も永久棋士です。し。



武田則明さん



有井 基さん



草野拓郎さん

**A** 今年は、内容的に見て多田智  
学が広がりつつある。「花の神話  
学」もなかなか充実していた。

**B** 安永稔和は、昨年、井植文化  
賞を受賞しましたし、「神戸の詩人  
たち」をまとめる仕事も、地道で  
いい仕事でしたね。

**A** 今年は、内容的に見て多田鶴  
満子より上でもいいね。野口武彦  
は今年も本を出していた。

**C** 末広光夫も、神戸ならではのジャズストリートを続いている。

**B** 彼の頑張りが、北野のにぎわいにつながっているだろうね。

るね。「人磨呂」もよかつたけど「柳宗悦」は、さらに一つ抜けて

★実を結ぶ地道な仕事

C 文化ホールの岡田美代も退職してフリーで演出の仕事を始める。ようで、酒徒番附に登場させたい。

B 神戸の五流能や井筒会のお世話を長い間やつていましたね。

A 今岡頌子舞踏団やK.F.M.のアツションショーの演出も評価されている。

B 堀尾貞治も頑張っていますね。東門画廊でこれまでやつてきた業績を、本にまとめて出す予定ましたし、よくやつていますね。

C 「ほんくら」も10周年を迎えましたし、よくやつていますね。

A 石阪春生の「オール関西」の表紙コラージュは素晴らしい。彼の場合は楽しいお酒だ。

B 池上忠治が『フランスの美術』という本を出しました。

C 松本宏は、個展を見ますと作品の方向が変わってきた感じです。変らずの飲みぶり。知念正文も、激動の一年。声楽の松本幸三も相変らずの飲みぶり。知念正文も、「行動美術」を抜けたりして、洋画の中堅として頑張って欲しい。洋画の中堅として頑張って欲しい。この方向に持っていくのは功績で頑張っている。

A 海文堂の島田誠が、元町の馬券売り場反対運動など「元町の文化と伝統を守る会」を作つて、一つの方向に持つていったのは功績で頑張っている。

B シアターボシェットの佐本進も、神戸からのミニ発信で頑張っているし、ピアニストの伊藤ルミーも、音楽の方の世話をよくやっている。朝比奈千足も神戸フィル

も奉仕的な仕事が多い。夏目俊二も風月堂ホールでコメディの舞台を定着させている。放送界では小山乃里子、村上和子が代表選手。C ファッション界では、中西省伍が、トアロードに山手会を作つて、まとめ役になつた。三村照雄は、学生監督映画「セビア・タウン」のプロデュースや、映画記念碑の運動で頑張つてますね。大森一樹も「ユー・ガツタ・チャレンジ」

**A** 能の方では藤井徳三が能楽協会伸吉支部の常議員を務めて、ス」を撮つた。

**C** 堀江珠喜の「世紀末御伽草  
会社戸支部の常議員を務めてい  
る。久田徹二も着実に伸びてきた

「子」もなかなかおもしろい。ノン  
フィクションの佐藤早苗も健在。

岡田淳も良い物を描いているし、個展を開いて欲しい。

**A** 三賞の選考に入ると、殊勲賞は岡田美代かな。大舞台で地道に

**B** 敢闘賞は、美術家が集まる  
“ほんくら”を守り続けている、

**C** 佐本進が、岡田とは違った色彩で、神戸の文化の縁の下の力合いで、堀尾貞治にあげたいなあ。

持ちをやつているし、福祉の方でも地味な仕事を続けていて、そういう意味で支那賞にノックタリ。

**B** これでどうにか落ち着いたね  
なかなか新しい人も入ったよう  
だ。  
△敬称略△



# 酒蔵ウォーキングマップ

旧西国街道の名残り  
西方寺に御影の松  
の碑があります。

沢の井  
お酒をつく  
った井戸

天長

世界長  
二のへん  
古酒藏

卷之三

阪神電車

國道  
43号線

高  
一

南正室

菊正宗酒記念全集





## 小山乃里子の 華麗なる男のインタビュー

# 藤田浩雅捕手（阪急ブレーブス） わかる女房役に

阪急ブレーブス、藤田浩雅捕手(23)。昭和59年度パリーグ新人王。昭和57年ドラフト3位で関東自動車から入団。今シーズンの成績は打率2割8分7厘。本塁打22本、69打点。昨秋結婚したばかりの新ヒーローである。

★ドラフトの順位は最初だけ。入団してからの実績。

——阪急ファンとしては去年は最高のシーズンだった。日本シリーズは残念だったけど。

藤田 そうですね。残念だったです。

——でも藤田君は新人王。おめでとう。

藤田 ありがとうございます。

——去年の春先のキャンプから上田監督は「藤田、藤田」

だったもんね。

藤田 キャンプ、そしてオープン戦と調子がよかつたから、ひょっとしたらとは思っていたけど。一軍の試合にあがつたのがおととしの8月からで、まだ実績がないから自信がないといえばなかつたですね。ただ期待されているのがわかりましたから頑張んなきやと思いましたけど。

——自信があるとすれば何だったの？バッティング？

藤田 いやア、バッティングも守りも自信なかつたスネ。肩だけでしたね。自信は、最初は全然打てなくて、一度、

監督にフォームをいじってもらつたら、その日に日生球場の近鉄戦でホームラン2本、翌日、西宮の日本ハム戦で2本打つてそれからでしたね。守りの方はピッチャー

の人たちにリードしていただいたみたいなもんでした。

山田さんなんか、テレビでしか見たことがない大投手ですから、最初を受けるだけ緊張しましたもん（笑）。

——若いんだ（笑）。何年のドラフトだっけ。

藤田 57年の3位です。1位がP.Lの榎田でした……。

阪神は全然来ませんでした（笑）。法政の木戸（捕手）一本槍でしたから。

——阪神に入つたらつぶされる（笑）。

藤田 向こうが1位だったから絶対負けるもんかと思いましたヨ。木戸はエリートコース（P.L—法政）で、こつちは無名（御殿場西高—関東自動車）でしたから……。でも期待度がない分だけ気楽にやれるところもありましたけど。期待されるとプレッシャーもありますからね。

藤田 ドラフトの順位なんて最初だけですからね。——今日アナタに会うといつたら、朝日放送の道上アナがぜひ阪神に来てくれと言つた（笑）。

藤田 ドラフトの順位なんて最初だけですからね。——そうよね。福本（福本選手）だって7位ぐらいでしょ。やっぱり「なにくそ」ってやるんでしようね。

藤田 ええ、そうスネ。

——ドラフトで指名されてすんなり入団したの？

藤田 ハイ。社会人の二年目のときにスカウトの三輪田さんがちよくちよく見えて、いい人だなと思ってまつから腹中で阪急と決めてました。他の球団、特に

広島なんか熱心でしたけど、「もう一年社会人でやるから」といつて断わってんです。今、明かす本音です(笑)

——エライ！(笑)。すると阪急ファンだったの？

藤田 イヤア、やっぱり巨人でした。郷里が静岡なもん

ですから、巨人の影響が強いんですよ。でも僕がナマの

プロ野球を見たのが小学六年のときの修学旅行で、阪急

一日拓(現日本ハム)戦でした。試合の勝ち負けは覚えて

ないんですが、「福本！」と声をかけたら、福本さんが

こっちに向いて手を振ってくれたのを覚えてます。

——やっぱりフクさんだなあ。フクさんは常々「子供は大事にしなきやあ」と言つてゐるもんね。そんなことがきっかけでズーとファンになつてくれるんだからね。

藤田 僕のところにも子供からファンレターが来たりす

るんですけど、鉛筆でいかにも小学生という字で書いてきて、時には往復葉書で来たりして(笑)、やっぱりち

ゃんとサインして返事を出しますね。

——ちなみに女性からのファンレターはどう？

藤田 昨年は結構来ました(笑)。週に10通ぐらいは来て

ましたけど、婚約発表したとたんにピタッと止まりました(爆笑)。

——どうもファンレターじゃないね(笑)。私なんか阪急

ファン拡張委員みたいなモンだから、イロイロ頑張つて

ンだけど……。でもやっぱりギャルを集めるには若い独

身のスターを作らないとね。それにしてもこのオフは阪急は結婚ラッシュだつたね。

藤田 僕でしょ、山沖さん、森、松本祥二さん……。

——野球選手は24歳ぐらいで結婚しちゃうものね。

★ピッチャーニの気持ちがわかるキャッチャーニ

——広島との日本シリーズはどうだったの？アガつた？

藤田 やっぱりアガりました。試合前はそうでもなかつたんですけど、試合になると手が動かない感じで、何してたのか全然わからなかつたです。さすがに独特の雰囲気ですかね。

——ブーマーも打てなかつたもんね。

藤田 かなり内角を攻められましたからね。打てないとやっぱり焦りも出ますし……。



ホームランか、三振か、大いにもめた問題のシーン。

——かわいそうに、痛い思いしてんのに（笑）。

藤田 松永さんは飲むと酒乱の気もあるし（笑）。おもしろい人です。

——でも怪我は怖いわね。

藤田 去年は開幕戦で水谷さんがデッドボールを頭に受け、一年間棒に振りましたしね。

ペナントレースから選手権まで二週間ぐらいあります。ピッチャーハイイングのカンを戻すのがなかなか難しいです。

——キヤツチャーモまた大変な仕事でしょ。

藤田 ハイ。怪我も多いですね。南海の香川が言つてましたけど「ブーマーがスライディングしてたら怖いワ」つて（笑）。

——同じチームでよかつたと（笑）。

藤田 それから、ピッチャーハイイングのカンを戻すのがなかなか難しいです。

——でも年上の人が多いから何にも言えなくて、「ナンダ?」「イエ、がんばりましよう」。

ただ、「がんばりましよう」だけを言つて戻る（笑）。

——ハハハ。ほんとにそれだけ（笑）。マウンドに行つて何しやべつてのつかと思ってたけど……。

藤田 同じ歳や後輩だとイロイロ言えますけどね。キヤツチャーハイイングのカンを戻すのがなかなか難しいといけないんですけど、まだ自分のことで精一杯ですか。

——キヤツチャーハイイングのカンを戻すのがなかなか難しいといけないもんね。野手なん

かはマウンドに集まつてなんつて言つてんの。

藤田 そうですね、松永（三塁手）さんなんかは言つてましたよ。西武球場のときでしたけど、山沖さ

——松永さんは飲むと酒乱の気もあるし（笑）。おもしろい人です。

（西宮球場前、土筆苑にて）

んが打球を足に当たたとき「グラブに当たなきや駄目だろ、投手だって投げ終わつた後は10番目の野手なんだから」（笑）。

——かわいそうに、痛い思いしてんのに（笑）。

藤田 松永さんは飲むと酒乱の気もあるし（笑）。おもしろい人です。

——でも怪我は怖いわね。

藤田 去年は開幕戦で水谷さんがデッドボールを頭に受け、一年間棒に振りましたしね。

僕らは怪我をすると引退になりかねないですからね。力が衰えての引退なら納得もできますけど、バリバリやつてるときには怪我をしてやめるとなると最悪ですからね。

そのかわり、働けば働くほどお金になる世界ですから魅力もありますけど。

——契約更改は？

藤田 年を越しましたけど。小早川（広島、セリーグ新人王）の数字と比較もしましたけど。

——私もフリーでやつてあるから、放送局に希望の数字を出すギヤラ会議なんかあるんだけど、「今回はこの線を譲れません」と言つたら「ブーマーみたいだ」と言われたりして（笑）。

藤田 監督にも「キヤツチャーハイイングのカンを戻すのがなかなか難しいといけないもんね。野手なんかはマウンドに集まつてなんつて言つてんの。

藤田 100試合以上出て、規定打席には達して2割8分台は打ちたいですね。

——さて今年の目標は？

藤田 ハイ、がんばります。

Most Beautiful Quality Life



創業明治十六年

金 柴田音吉洋服店

神戸・元町4丁目南 TEL(078)341-0693  
大阪・高麗橋2丁目 TEL(06) 231-2106

## St. Valentine's Day

幸せを…  
あなたと共に…



あなたの——  
まごころを伝える  
バレンタインのプレゼント  
今年もバラエティー豊かに

北欧の銘菓  
ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市中央区熊内町1-8 TEL 221-1164

# 若い感性と実行力で “アイラヴKOB

# E”を



斎藤 微さん



加藤 裕三さん



宇津 誠二さん

## □出席者□

宇津 誠二

△フリーランサー  
△VIEWオーナー

加藤 裕三

△角遊プラン・デザイナー  
△木工芸

白羽 弥仁

△映画監督  
△絵画

杉山 知子

△セピアタウン主演女優

取坂由起子

△陶芸

西村 裕夫

△陶芸

東田 輝幸

△インターナショナルフリーマークエーブ  
△ケント連盟、コウベシティーウエーブ  
△プランナー

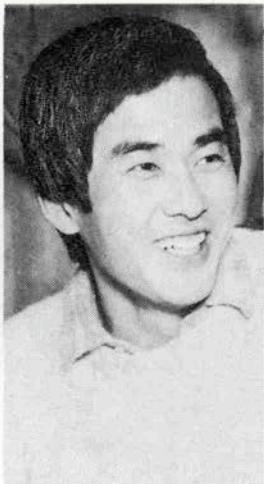
——都市は常に変化を続ける生きもののような部分があるとよく言われます。今回は、神戸を中心にさまざまな分野で活動を続いている若い世代の代表者にお集まりいただき、自由な夢と感性の煌めきあふれるお話をお願ひします。

## ★阪神間は「遊空間」

東田 僕はプランニングがメインなんですが、企業CIから学生イベントまで、とにかく何でもやるわけです。だから“何でも屋”が仕事でして(笑)、今までレゲエコ



東田 輝幸 さん



西村 裕夫 さん



取坂由起子 さん



杉山 知子 さん



白羽 弥仁 さん

ンサーとか、フリーマーケットを手がけてきました。2年前にインター・ナショナル・フリーマーケット連盟をつくって僕は神戸を中心で活動しています。神戸という街は、大阪に比べて商売にならない所なんですが（笑）、僕は個別的には変な魅力を感じていますね。僕の出身は淡路なんですが、神戸に住んで8年目になりました。僕にとつて神戸はほつとかれへん街や、という気持ちなんですね。大阪や東京だったら、誰かがやりよるけど、神戸は僕らががんばらないかんなあと思うんです。いつも何か面白いことができないかと考えてるんですね。最近はポートアイランドの市民広場とサンパルでフリーマーケットをやつたり須磨海岸でレゲエ大会とか、もつともっと面白くしてやるぞと意気込んでいます。

**杉山** 私は、ただひたすら作品をつくっているだけなんです。テーマのようなものがあるとすれば愛とかやすらぎでしょうか。アトリエがちょうど神戸っ子の編集室近くの高砂ビルの中にあって、このビルは古くて非常に頑丈な建物で、私は神戸らしいあと、とても気に入ってるんですよ。三宮のビジネス街にあって、オリエンタルホテルも見えるし、眺めそのものも神戸らしいんです。

**白羽** 僕は昨年、16ミリの映画「セビアタウン」をつくりまして、神戸秋の芸術祭参加作品として、田崎ホールで上映させていただきました。一時間以上の自主制作映画は神戸では10年ぶりということで評判もよくて、とりあえずはひと息ついたという感じです。僕は芦屋生まれで小学校に上がる前に神戸に移りました。「セビアタウン」は神戸が舞台なんですが、神戸へのこだわりのようないいものが強烈にありますね。現在、日大の芸術学部に在籍していますが、東京と神戸を往き来していると、うまく言えませんけど自分の中の神戸つてものが、歴然と存在していることを感じます。

取坂 映画「セビアタウン」の主演女優とか、肩書きがつっちゃって、私、そういうつもりでやつたわけじやなかつたから、あとでびっくりしているんです。今は大学

で幼児教育を専攻しているんですけど、どうやら映画の方が面白くなつてきました。私は東灘生まれでずっと21年間住んでいます。

加藤 僕の仕事というのは、簡単にいえば「木のオモチャ」づくりですね。遊プランは当初は3人のデザイナーが集まつてやりはじめたんですが、今年はもう少しボルテージをあげたいなと思っています。僕たちのメンバーで、倉敷の小黒三郎が盲学校で、いわゆる障害者の人たち、失礼な方かもしれないけど、社会の中で陽の目をみない存在の人たちにもつと遊具を与えてさしあげたい、と考え、大手メーカーでは採算があわないので手が出せないオモチャの世界に進出しようと言い出したのが、この仕事のキッカケなんです。

僕は大阪生まれで、いわゆる団塊の世代、職業も両手両足の指で足りないほど転々としました。そして、縁あって、信州の白馬へ行き、木彫を始めたのが、木との出会いなんです。木は自然のままでも楽しいんだということを肌で感じました。そのうち、子どもが生まれて、自分の子のために作った木のオモチャが、オモチャづくりのキッカケですね。

信州から南米へ渡り、帰つてきて、知人の先生からアトリエでもいるやろ、と声をかけていただき、昔屋で100坪の土地の中で個人的な作家活動に入りました。今年で5年になりますが、僕はもともとは大阪の下町育ちですから、神戸昔屋はどうも空気がちがうなあと感じますね。サラッとしていて、適当に静かで情報も入りやすい。居てる人間も常に流動していて、「巣」のような所へ帰つていく、いわば阪神間は、「遊空間」なんですね。西村 私は陶器づくりの方なんですが、いろんなことをやってみたい人間なんです。東田さんのようなプランニングの仕事にも興味津々だし、いろんなことをやつていきながら、たどりついたのが「土」の世界、陶器なんですね。生まれたのは神戸なんですが、淡路島15年、京都は3年、山梨3年、それに千葉にも住みました。私も加藤

さんとよく似ていて、ある種ジブニー的な部分がありますして(笑)、今は神戸の西区に定住していますものの、せめて心中でだけでも放浪したいナアと思っています。

笹倉 今日の出席者の中で、いちばん保守的な仕事「木工芸」をやっています。仕事柄、今は多可郡という兵庫県のいなかに籠つてやつておりますが、個展を開くのはやはり神戸です。今日いなかからはるばるやつて参りましたのは、この座談会で神戸の若者といっしょに神戸の空気を吸つて、ぜひ感覚をリフレッシュしたい、と意気こんでいます。

宇津 僕は「イラストレーター」という意識はありません。残念ながら、そう呼んでもらつても困るんですね(笑)。誰かの言葉では、フリーランサーが僕向きじゃないかと(笑)。神戸生まれの神戸育ち、神戸っ子でありながら、いつもどこかいいところないかないと――。機会があれば神戸を飛びだしたろうと、ずっと考えてきましたね。学校を出てから、グンゼ株式会社で男物のパジャマのデザインをやりました。婦人物だったらまだよかつたんですけど(笑)。そのあと、アメリカへ行きたくなつて。実は画家のノーマン・ロックウェルに憧れて、彼の暮らしていた町、ストックブリッジを訪ねてみたかっただけです。僕はノーマン・ロックウェル原画美術館へ行き、ロックウェルと懇意だった画家のフランク・ジョンソンさんに出会いました。アメリカのこの小さな町の人に私の胸の中にあるものを見せていただきたくて、日本語と英語を用いた絵本をつくつたんです。その本はロックウェル原画美術館に置いてもらつていますが、私は絵に絵を描くのではなく、文章があり、その上に絵を描いてみたかつたのです。

★神戸の街に若者文化の波動をひきおこそう!

東田 僕はいろんなイベントをやつている関係から思っていますけど、神戸の都市全体の動き方というか、方向性

というのは少しづつだけどいい方向へむかっているという気がしますね。しかし、みんなが願っていることを本当に実現しようとしたら、コストパフォーマンスの面でおりあわんんですよ。たとえば、三宮センター街も東から西まで一本にまとまればものすごく面白いだろうなと思います。新世代にとスタートを切ったわけですから、若いアイデアとパワーが団結したら、楽しいイベントだって夢じやない。北野町のキタノフアッシュションストリートも初めての企画だったんですが、私も少しお手伝いして、まずまずというところで、これに肉付けされていくときっと素晴らしい、神戸らしさをもったイベントに育っていくでしようね。昨年、暮れにジャヴァアのファシションショーがあり、オレンジクラブとコウベシティーウエーブのタイアップで、大変いいものができたようです。やはり、企画がよければ、必ず盛りあがるものだなあと思いました。僕のいちばん気になっているのは、元町なんですね。元町は伝統が110年もあり、昔から代々続いているオーナーが多いだけに、新世代へと移行ができない。老舗感覚は大切にする一方、「元町の文化と伝統を守る会」とか、いろんな動きがある中でも何か脱しきれない部分が気になっています。

杉山 私は自分が「神戸っ子」なんだ、というプライドのようなものがあつて、それは独特の感じなんですね。さきほど加藤さんの言われた阪神間の空気、「遊空間」みたいなものかもしませんが、この感覚がいつも神戸の街を生きいきとさせているように思います。そして、世代的なものかもしぬいけれど大学生や若い人たちにはそんなものが失われてしまっているような気がしているんですよ。

白羽 神戸っ子としてのプライドという話ですが、僕はあえて自分が神戸っ子だと言わなければならぬといふのは悔しい気がするんです。東京には江戸っ子というのがいて、横浜には「浜っ子」がいる。日大に在籍しながら、僕は、神戸の洗練された格好を見てほしい、だから

ら、ちがうだろう、と言いたいんですよ。

加藤 僕は神戸の中にいて、やはりいつまでたつても異邦人だなあて思っています。厳しいことを言え、異邦人の立場でみて、「神戸っ子」とはブランドでも何でもなくて、内輪でわいわい言つてただけとも思うんです。

東田 神戸はハードな外ワクだけつくって東京の真似をするという悪い面がありますね。中身はとにかくあとからくつづいて回る。そうじやなくて、まず、中身が生まれて、そこから発想して外回りをつくらなければ。

加藤 「神戸っ子」のプライドというのは、その面で強く出してほしいね。杉山さんの言われる点はどうやらそ

のあたりじゃないですか。だから、僕らからみると、つまり横からみると、「神戸っ子」ってリキンでいるみた

いな気がします。

白羽 神戸は水がうまいし、酒もうまい。水が素晴らしい街なのに、海を埋め立てる、山を削りすぎるわけです。自然のロケーションが素晴らしいから「KOBÉ」だったのに、残念なことが多いんです。

たとえば、先日、カメラのファインダーをのぞいてて、ハッとした気がいたんですが、ずっと8ミリを撮つてて、昔のフィルムを見たら、あの建物がすっかり消え失せてしまっているということが多すぎるんですよ。

六甲教会の向こうにあつた会館が実に神戸らしいいいみたいなものかもしませんが、この感覚がいつも神戸の街を生きいきとさせているように思います。そして、世代的なものかもしぬいけれど大学生や若い人たちにはそんなものが失われてしまっているような気がしているんですよ。

取坂 日常的かもしれません、私はずっと岡本に住んでき、岡本市場は子どもの時分からツッカケで買い物に出かけたものです。気軽に買い物かごをさげて、タツタツといわゆる市場ムードで出かけましたね。ところが市場全体がすっかりきれいになつて氣どつた雰囲気

の街になってしまってます。他の所から来られる人が  
増えて悪くなつたというわけじゃないんですけど、母親に  
言わせると、ダイコン一本買いにいくにも、ノーメイク  
では歩かれへんという感じ、犬の散歩も着替えて出か  
ける、やはり、ちょっと神戸っ子としては不満なんです  
ね。

加藤　夙川にイカリスバーバーつてあるでしよう。僕は昔  
屋に来てから、岡本も御影も昔から、イカリみたいな感  
じかなあと思つてましたよ。ちがうんですね。

大阪の阿倍野区の人間がイカリなんかみたら、あれの小ぎれいな服装の買いもの客はまさにカルチャーショックだった(笑)。

耶場　ソシカケ姿がカシニ悪いわけじゃないと思ひんです。私はそういうふうにしていった周りの環境がイヤだなあと思う。周りからそうしないとオカシイ、ダメで

21歳の私が感じるのはこの数年のうちに「神戸は変わった」と感じます。そこで、「神戸にアーティストがいる」と

西村 僕は神戸では三宮、元町、岡本、御影、六甲に住

なんだ経験がありますが、西区の電柱もない所に住んでようやく水を得た魚という感じです。

という気もします。これだけは固執したい、という職人的なこだわりがほしいんですね。改装するというと全部が改装しようということになる、自分自身の考え方が始ま

笹倉 神戸という街は、京都とはちがつて100年の伝統しかないわけだし、古きよきものを残すという方向よりも新しい感覚がどんどん先行していく方向がふさわしいと思います。

それはハイカラ精神と本当のオリジナリティだと言え

るわけですが、一方で、私が強く願つていることは神戸が緑だけは大切にする街であつてほしい、ということです。開発は破壊でなく創造であるべきだし、それにはいつも「緑」が関わっていてほしい。

緑は、土であり、また水であって、行政サイドは緑を重視しているけれど、市民レベルでこのことを考え直す必要があると思うんですね。つまり、緑を守り育てることが市民にとっての心身の健康生活の源だということです。

また、このことを個人個人が主張できる街、神戸であつて、その上での神戸っ子であつてほしいんです。

白羽 僕は映画が好きで映画のことと恐縮ですけど、今神戸ではどんどん映画館が減つていってます。ビッグ映劇でさえ、名画座からロードショーハ化になってしまいました。

神戸が映画発祥の地でありながら、僕は情けない思いですね。神戸だからこそ、何でも上映できる映画館がほしい、そこから文化と街づくりが始まつたら素晴らしいと思います。若い感性が一堂に集まるスペースづくりこそ大切です。

ようなブームが神戸にも生まれてほしいんですよ。

最初は小さな波のうねりが迷心力をもつてきて次第に大きなうねりとなって街全体に活気をもたらすんです。そのうねりをつくっていくのは、若い感性だと思います。今まで思いもつかなかつたような素晴らしいアイデアと実行力で、僕らもぜひ頑張りたいですね。

(北野坂のVIEWにて)

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作  
神戸市中央区港島中町6-3-2  
TEL (078) 302-3321

株ベニヤ

取締役社長 松谷富士男  
神戸市中央区三宮町1丁目10-1  
TEL (078) 332-3155

株南インターナショナル

代表取締役 南泰吉  
神戸市中央区浜辺通5丁目1-14  
神戸商工貿易センタービル1701  
TEL (078) 232-1301



ビッグインタビュー

# 上村松篁

対談別 岸昌 vs フリツツ・フオス

今昔絵双紙〈10〉田辺聖子

絵/岡田嘉夫

小説太陽の発見者〈7〉阿部牧郎  
上方味覚紀行「下鴨茶寮」楠本憲吉

海外作家  
インタビュー エバ・オシンスカ

特別寄稿

瀬戸内寂聴



新しい関西を創造する総合雑誌

# オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読)  
¥8,000

2月号



スター  
ハイライト 谷村新司

日本の宝との出会い「明日香村猿石」  
空から見た造形美「知恩院」  
美女登場「伊砂ゆみ子」

大阪の曲り角●木津川  
じやばにいすスピリチュアル⑨●石濱恒夫  
計  
創造の世界●京セラ株式会社

誌上シンポジウム、ザ・カンサイン⑥

創作・第二回大阪女性文芸賞受賞作品  
「海の見えない港町で」吉田典子

関西ニューメディア・エージタウンジャー・ナル/  
西日本ホットライン/カルチャーカレンダー/今  
月の健康/名医に聞く/パーティ&シンポジウム  
/マンガ・小島功の好色一代男/B-BOOKレビュ  
/オラクル/エロチカ辞評/ヤングのページ/

■オール関西株式会社/〒553 大阪市福島区福島3丁目1-59イカリビル3階 06-453-4301